

評価項目表

評価項目		評価内容		必須項目	配点		
					基礎点	加算点	項目計
(1)	基本コンセプト	(ア)	・事業者として考えるシステム構築の目的が本県の目的と適合しており、その目的を達成するための方法は具体的かつ妥当なものか。	必須	10	—	10
(2)	構築・運用保守実績	(ア)	・国又は地方公共団体、独立行政法人への実績が記載されているか。	必須	10	—	30
		(イ)	・構築・保守実績は豊富か。 ・(ア)に対応する実績を除いて、国又は地方公共団体、独立行政法人への実績については、1件10点とする。その他への実績については1件5点とする	加算	—	20	
(3)	構築時の履行体制	(ア)	・役割分担及び体制が記載されているか。 ・役割分担及び体制は妥当か。	必須	10	—	30
		(イ)	・旅費システムの構築に関する実績がある要員が含まれているか。 ・項目点＝要員が含まれている場合は20点とする。	加算	—	20	
(4)	システム全体構成	(ア)	・本仕様書に記載の環境、業務量を満たした構成であるか。 ・本仕様書において対象としているユーザ全てが利用できる構成であるか。 ・本県の財務会計システム等の連携を行うシステムと問題なく連携できる構成であるか。	必須	10	—	10
(5)	セキュリティ要件・ログイン方法	(ア)	・セキュリティ対策について、問題がないことが十分説明されているか。 ・インターネットからのアクセスについては、セキュリティ対策のため、クライアント証明書の導入や2要素認証を行う等セキュリティ対策が施されているか。	必須	10	—	40
		(イ)	・ユーザの利便性を考慮したログイン方法となっているか。	加算	—	30	
(6)	基本的な操作手順	(ア)	・基本的な旅行命令の操作が行えるか。	必須	10	—	40
		(イ)	・一連の流れは煩雑な手順となっていないか。	加算	—	30	

評価項目表

評価項目		評価内容		必須項目	配点		
					基礎点	加算点	項目計
(7)	機能要件 (旅行者の視認性)	(ア)	・旅行者の視認性についての説明があるか。	必須	10	—	80
		(イ)	・文字の読みやすさ、色の見やすさについて ・文字サイズが小さすぎないか。 ・フォントが見やすいか。 ・背景と文字のコントラストが十分か。	加算	—	30	
		(ウ)	・視線の流れに配慮されているかや操作要素の識別のしやすさ。 ・どこに入力すれば良いか一目でわかるか。 ・ボタンや入力欄が見分けやすいか。また適切なサイズか。	加算	—	30	
		(エ)	・不要な情報が表示されていないか。	加算	—	10	
(8)	機能要件 (旅行者の操作性・負担軽減・効率化)	(ア)	・旅行者の負担軽減・効率化についての説明があるか。	必須	10	—	140
		(イ)	・直感的な操作がしやすいか。 ・習熟度の低い利用者が、容易に入力できる仕様となっているか。	加算	—	40	
		(ウ)	・入力内容を自動チェックし、誤りがある場合、どの項目が誤りか判断できる機能が備わっているか。	必須	10	—	
		(エ)	・入力内容を自動チェックする機能は、誤りがある場合、どの項目が誤りか容易に判断できるか。	加算	—	20	
		(オ)	・マニュアル等を参照しやすい仕様となっているか。	加算	—	10	
		(カ)	・過去の旅行や複数人で同じ旅行に行く場合に、旅行命令の複製を行うことができる等、同じ操作を行う回数を減らす等の負担を軽減する機能が備わっており、業務の負担軽減につながる機能となっているか。	加算	—	50	

評価項目表

評価項目		評価内容		必須項目	配点		
					基礎点	加算点	項目計
(9)	機能要件 (承認者・計算者・審査者の視認性)	(ア)	・承認者・計算者・審査者の視認性についての説明があるか。	必須	10	—	100
		(イ)	・文字の読みやすさ、色の見やすさについて ・文字サイズが小さすぎないか。 ・フォントが見やすいか。 ・背景と文字のコントラストが十分か。	加算	—	30	
		(ウ)	・視線の流れに配慮されているかや操作要素の識別のしやすさについて ・ボタンや入力欄が見分けやすいか。 また、適切なサイズか。	加算	—	30	
		(エ)	・承認、計算、審査対象を一覧から容易に見つけることができる画面構成となっているか。	加算	—	20	
		(オ)	・不要な情報が表示されていないか。	加算	—	10	
(10)	機能要件 (承認者・計算者・審査者の操作性・負担軽減・効率化)	(ア)	・承認者・計算者・審査者の負担軽減・効率化についての説明があるか。	必須	10	—	100
		(イ)	・極力一画面で表示され、内容の確認のためにクリックの回数を極力減らす仕様となっているか。	加算	—	50	
		(ウ)	・確認点をわかりやすくする機能が備わっているか。	加算	—	20	
		(エ)	・その他、承認者・計算者・審査者の負担軽減につながる機能が備わっているか。	加算	—	20	
(11)	機能要件 (公共交通機関による経路検索)	(ア)	・利用する経路検索ソフトを記載しているか。 ・JRグループ、南海電気鉄道株式会社、和歌山バス株式会社、和歌山電鐵株式会社の経路検索に対応しているか。	必須	10	—	50
		(イ)	・JRグループ、南海電気鉄道株式会社、和歌山電鐵株式会社の通勤認定を受けている職員の旅費を自動で調整することができるか。	必須	10	—	
		(ウ)	・和歌山バス株式会社の通勤認定を受けている職員の旅費を自動で調整することができるか。 ・項目点＝自動調整できる場合は30点とする。	加算	—	30	
(12)	機能要件 (マップ検索機能)	(ア)	・近畿、三重県、徳島県、東京都のルート検索に対応しているか。	必須	10	—	50
		(イ)	上記を除いた対応都道府県数・・・① ・【項目点】＝40点×(①÷38)※小数点以下第2位を四捨五入する。	加算	—	40	

評価項目表

評価項目		評価内容		必須項目	配点		
					基礎点	加算点	項目計
(13)	機能要件 (クレジットカード連携)	(ア)	・クレジットカード会社のシステムと旅費システムが連携し、利用履歴を旅費システムへ連携できる機能が備わっているか。	必須	10	—	70
		(イ)	・事務の効率化が図れる説明が記載されているか。	必須	10	—	
		(ウ)	・現状のパッケージ、サービスの機能として搭載されているか。 ・項目点＝新たに構築するのではなく、パッケージ、サービスの機能として搭載されている場合は20点	加算	—	20	
		(エ)	・利用履歴を旅費システムへ反映させる操作が容易に行うことができるか。	加算	—	30	
(14)	機能要件 (外部の旅行予約システムとの連携)	(ア)	・外部の旅行予約システム等と連携して、旅券等が発注できる機能が備わっているか。	必須	10	—	70
		(イ)	・現状のパッケージ、サービスの機能として搭載されているか。 ・項目点＝新たに構築するのではなく、パッケージ、サービスの機能として搭載されている場合は20点	加算	—	20	
		(ウ)	・外部の旅行予約システム等と連携して、容易に旅券等が発注できるか。	加算	—	20	
		(エ)	・外部の旅行予約システムの利用履歴を旅費システムへ連携できる機能が備わっており、利用履歴を旅費システムへ反映させる操作は容易に行うことができるか。	加算	—	20	
(15)	機能要件 (追加提案)	(ア)	・仕様書に記載されている以外の領収書のファイルをOCR機能を利用して文字変換を行い取り込む、交通系ICカードの実績を旅費システムへ取り込む、海外旅費に対応している等職員の利便性を高める追加の機能はあるか。	加算	—	100	100
(16)	機能要件 (制度改正・仕様変更への対応)	(ア)	・県制度の変更に対しての対応方法の記載があるか。	必須	10	—	100
		(イ)	・県制度の変更に対して、現状のパッケージ等に機能がない場合に柔軟な対応ができるか。	加算	—	90	

評価項目表

評価項目		評価内容		必須項目	配点		
					基礎点	加算点	項目計
(17)	運用・保守	(ア)	・運用・保守について業務体制が具体的に示されているか。	必須	10	—	120
		(イ)	・運用・保守の業務体制は妥当か。 ・進捗管理、品質管理、課題管理について具体的かつ妥当な管理方法が示されているか。	加算	—	30	
		(ウ)	・相談対応の業務体制について具体的に示されているか。	必須	10	—	
		(エ)	・相談対応の業務体制について体制は妥当か。 ・相談対応の方法（ヘルプデスク含む）について、具体的かつ妥当な方法が示されているか。	加算	—	30	
		(オ)	・障害発生時の連絡体制について、具体的に示されているか。	必須	10	—	
		(カ)	・障害発生時の連絡体制及び対応方法について、具体的かつ妥当な方法が示されているか。	加算	—	30	
(18)	追加提案等 (機能要件以外)	(ア)	・本業務の実施に際し、機能面以外の追加の提案事項やアピールポイントがあるか。また、その内容は事務の効率化・職員の負担軽減につながるものか。	加算	—	160	160
(19)	機能要件 (機能の充実度)	(ア)	特記仕様書（機能仕様編）について、次の通り計算する。全197項目における対応可否により、次の項目点を付与 【項目点】＝200点×（回答項目の点数合計÷394点） ・「○」＝2点、「△」＝1点として計算する。 ・ただし、妥当な代替案と判断される場合は、「△」は2点として計算する。※小数点以下第2位を四捨五入する。 ・必須項目の「△」の代替案が認められない場合は、技術提案書は不合格とする。 ・必須項目に「×」が存在する場合は、技術提案書は不合格とする。	加算	—	200	200